

今、金剛山頂付近の「ちはや園地」では...

「フィット」とか「チーツ」という鋭い声が聞こえると、そこには「赤い鳥」がいるかも知れません。

林縁部や草むらで草の実を食べているこの鳥、名前は「オオマシコ」と言います。

シベリア東部から中央シベリアあたりの亜寒帯で繁殖し、冬季はモンゴル、中国東部、朝鮮半島に渡って越冬することが多いのですが、日本にも「冬鳥」として、主に本州中部以北に渡来します。

残念ながら、渡来数はそれほど多くないのですが、美しいバラ色の羽毛に魅せられるのか、ファンの多い種だと言えます。

体長はスズメよりも大きく 17 cm くらい、成熟した雄は全体的に「鮮やかな紅色」に見えますが、雌や若い雄は赤みが薄いですね。

そろそろ暖かくなってきましたので、この種も「繁殖」のために大陸へ渡る時期が近づいてきました。

大阪府、京都府、それに滋賀県の RDB (レッドデータブック) では、「準絶滅危惧種」に分類されており、さらに地球温暖化の影響も考えますと、いつまで金剛山にやってきてくれるのか、少し心配になりますね...

最後の写真は、「ヤマガラ」とともに、遠くを見つめているようです。











